2011年12月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項　　目	記　載　内　容
英文論文		
1	著者名	Kano, S.[*1], Todo, H.[*1], Furui, K.[*1], Sugie, K.[*1], Tokudome, Y.[*1], Hashimoto, F.[*1], Kojima, H., Sugibayashi, K.[*1]
	所属機関名	[*1]:Josai University、Saitama
	論文題名（和訳）	Comparison of Several Reconstructed Cultured Human Skin Models by Microscopic Observation: Their Usefulness as an Alternative Membrane for Skin in Drug Permeation Experiments(顕微鏡観察による数種の再構築培養皮膚モデルの比較：医薬品吸収実験における皮膚代替膜の有用性)
	雑誌名、巻（号）、ページ、（年）	Altern. Animal Test. EXperiment, 16(2): 51-58 (2011)
雑　　誌		
1	著者名	小島　肇
	題名	技術講座　安全性評価試験（2）　安全性評価試験法
	雑誌名、巻(号)、ページ、(年)	COSME　TECH　JAPAN,1（7）18-22　（2011）
国内学会		
1	発表者名	小島　肇
	演題名	動物実験代替法の国際的動向とJaCVAM活動について
	学会名，発表年月及び場所	日本輸入化粧品協会　技術部会、平成23年12月7日、東京
レギュラトリーサイエンス関連国際会議		
1	参加者名	小島　肇
	会議名(和訳)	9th meeting of the Validation Management Group for Non-Animal Testing (VMG-NA) in OECD (OECD非動物実験のためのバリデーション実行グループ第9回会議)
	開催場所,年月日	プタペスト（ハンガリー）、平成23年11月30日-12月2日
	会議内容	各国におけるin vitro内分泌かく乱物質試験の開発状況を確認し、ガイドライン案や、ガイダンス、今後の計画案などについて詳細に討論した。
2	参加者名	小島　肇
	会議名(和訳)	OECD Cell Trasformation assay expert meeting (OECD形質転換試験専門家会議)
	開催場所,年月日	パリ（フランス）、平成23年12月14日-12月15日
	会議内容	形質転換試験に関する新たなテストガイドラインの作成に関して各国の専門家と議論した。日本から提案している2試験法について進捗を説明するとともに、今後の計画について提案を受けた。